

# マツモトこすめーる

Vol.35



## キュアベリー

CUREBERRY

### ストレス社会に、注目の癒し系 GABA

キュアベリーはグルタミン酸脱炭酸酵素 (GAD) の増加を促す作用があり、この物質が生体内にて **GABA (ギャバ)** を生産しています。

**GABA** は、正式にはガンマアミノ酪酸と呼ばれる物質で Gamma-Amino Butyric Acid という英名の頭文字をとって、**GABA (ギャバ)** と呼ばれています。



**GABA** は真皮で GAD により産生され、肌の老化予防へつながる重要な役割を担っている事が発見されました。

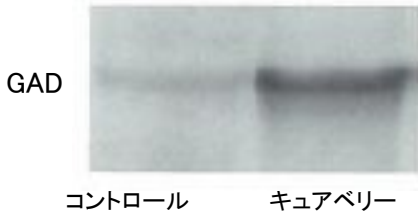
#### ● 癒し系アミノ酸

GABA は現在、精神の安定化のはたらきについて様々な研究がなされ報告されています。その中でも特に、抑制性の GABA を摂取することで、不安やイライラを解消し、精神を和らげる効果が確認されています。その為、ヒーリング効果やリラックス効果のある**癒し系アミノ酸**として注目され始めました。

さらには、GABA は細胞に活力を与える事から、**皮膚におけるバリア機能の回復促進作用**が分かってきました。さらには**肌の老化予防作用**へと期待されています。

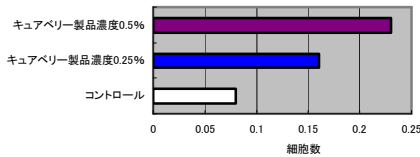
他にも、腎臓・肝臓機能の活性化作用(アルコール代謝促進)、中性脂肪を抑える作用(肥満防止効果)などもあります。

### GAD 増加作用



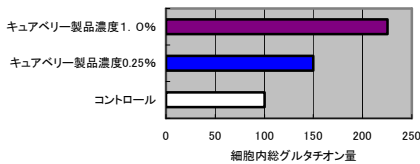
培養ヒト皮膚線維芽細胞にキュアベリーを添加し、24 時間培養後、線維芽細胞を回収し、GAD タンパクをウェスタンブロッティング法にて確認しました。キュアベリー添加により線維芽細胞において GAD タンパクの増加が確認されました。

### 線維芽細胞増殖作用



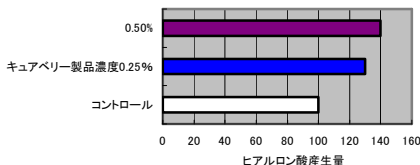
線維芽細胞は真皮にあって、コラーゲンやエラスチンなどの構造体(マトリックス)を生み出します。線維芽細胞の活性低下は、皮膚の老化へとつながります。キュアベリーは、ヒト真皮線維芽細胞の増殖を促進しました。

### グルタチオン産生促進作用



グルタチオンは、細胞を酸化傷害から守る生体内抗酸化物質です。最近では免疫低下抑制やストレスからの保護作用などが報告され、総合的な生体防御物質と認識されました。キュアベリーは、ヒト線維芽細胞におけるグルタチオンの産生を促進しました。

### ヒアルロン酸産生促進作用



ヒアルロン酸は大量の水分を含み、真皮のしなやかさを生み出す役割を果たしています。ヒアルロン酸の産生を促すことは、若いしなやかな肌を取り戻す可能性が期待されます。キュアベリーは、ヒト線維芽細胞からのヒアルロン酸産生を促進しました。

### 【商品情報】

商品名:キュアベリー(CUREBERRY)  
表示名称:ビルベリー葉エキス(6月取得予定)、1,3-BG、水  
製造元:一丸ファルコス株式会社



株式会社 **マツモト交商**

東京本社:〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 4-4-20  
TEL 03-3241-5161 / FAX 03-3241-5169  
大阪支店:〒530-0001 大阪市北区梅田 3-4-5(毎日新聞ビル 3F)  
TEL 06-6342-1185 / FAX 06-6342-1199  
E-mail:[yakusho@matsumoto-trd.co.jp](mailto:yakusho@matsumoto-trd.co.jp)  
<http://www.matsmoto-trd.co.jp/>